



長田区
長田消防団第1分団

安松 洋子 さん

「悪を憎み、弱きを助ける」長田のヒロイン

執筆者 長田区 長田消防団第1分団

分団長 白泉 英昭

今回は、わが長田消防団第1分団のヒロイン、安松洋子さんをご紹介します。

安松さんは、幼くして事故によりお父さんを亡くされ、女性だけの家庭に育ちました。実家は農業を営まれているのですが、当時は社会の理解も十分ではなかったため、女性だけの切り盛りは大変だったと思います。

そのため安松さんは、今となっては当たり前と考えとなりましたが、「女性も男性同様、たくましくあらねばならない」という信念を、早くからお持ちだったそうです。正義感

が人一倍強く、困っている人を見ると放っておけないという安松さんは、子どものころは、悪を憎み、弱きを助ける、女性刑事に憧れていたとか。

このように、男性と同じように社会貢献をしたいという考えを持っていた安松さんですが、実際に飛び込んだのは、あえてまだまだ男社会の色濃い、調理師の世界……。当時は男女間の賃金格差などもあり、女性への評価が低かった時代です。そのような状況の中、安松さんは大変な努力をされたということです。

やがて結婚して、4人のお子さんに恵まれてからは、教育熱心な母親へと大変身！PTAの副会長を務め、学校や地域のいろいろな方と交流を持ち、精力的に活動されています。そんなあるとき、女性の消防団員のことが話題にのびました。そのとき、安松さんの心にある思い

がよみがえってきました。

「幼いころに亡くなったお父さんも、消防団員だった……」。

元来、正義感が強い安松さんは、悪を

憎み、弱きを助ける仕事に、男性も女性も関係ないはずと考えていました。その点からしても、女性消防団員は、自分とつてまさに打って付けの仕事ではないか、という結論に至ったそうです。そして生前の父親と同じように、地域の安全を守るために消防団へ入団し、活動を始めたのです。

現在、決意も新たに消防団活動にまい進されている安松さん。亡き父の分まで頑張る安松さんの今後の活躍を、消防団員一同、大いに期待しています！

